

郡上農林事務所の普及活動状況 令和7年6月30日現在

今月の重点活動

■就農支援 郡上トマトの学校「体験コース」を開催

J Aめぐみのが運営する就農研修施設「郡上トマトの学校」の体験コース（第2回）が6月12日に開催された。同コースは昨年からは開始された取組みで、郡上が夏秋トマト産地であることを知ってもらい、本格的なトマト栽培に触れることで、就農への発展を目指すものである。

今回は4名の受講生が参加し、ほ場内での管理作業（定植、誘引、芽かき等）について研修を行った。受講生は講師の説明に熱心に耳を傾け、管理作業を実践し作業のコツをつかんでいた。また、肥料や水のやり方に対する質問等もあり、関係者（J Aめぐみの、農林事務所、郡上市）が丁寧に対応した。

体験コースは10月まで全6回が計画されている。農業普及課は、今後も各回の開催を支援し、受講生の技術向上と就農への足がかりとなるよう活動していく。



【ほ場体験の状況】

郡上農畜水産物のブランド展開

■夏だいこん 本格的な出荷に向けて目揃え会を開催

6月26日、ひるがの高原だいこん生産出荷組合は、令和7年作の本格出荷を前に、出荷目揃え会を開催した。

本年は積雪の影響によって播種は出遅れていたが、今後は不安定な天候が憂慮されることから、農業普及課からは、土壌流亡対策など栽培管理における注意点を、農業振興課からは熱中症への注意喚起を行った。

市場関係者からは北海道等の他産地が生産規模を縮小しているという情報提供もあり、当産地への期待の高さが感じられた。

農業普及課は、夏期の安定生産と持続的な産地づくりに向け関係機関と連携しながら必要に応じた改善対策を支援する。



【目揃え会の様子】

■南天 郡上南天の課題解決に向け意見交換会を開催

郡上市の八幡町中心に南天を生産・出荷する郡上八幡南天生産組合は、6月27日、J Aめぐみの郡上営農経済センターにて産地の課題解決に向けて意見交換会を開催した。

農業普及課は、課題の1つである安定生産に向けて、高温少雨などの気象変動の影響について、各関係機関からは産地振興に向けた施策等について説明が行われた。

意見交換会では1グループ6名程度で4つのグループに分かれ、栽培経験の長い組合員から、栽培上の課題（剪定方法、苗づくり等）を抱える組合員に対して経験を基にした助言が行なわれた。

農業普及課は、郡上市の特産物である南天の産地維持に向け、関係機関と連携して課題解決に向けて支援していく。



【南天意見交換会の状況】